

科目	トライボロジー (Tribology)		
担当教員	中辻 武		
対象学年等	機械システム工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-4(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	すべり軸受の設計を流体潤滑理論を適用して行う。ジャーナルおよび平面における流体潤滑理論をジャーナル軸受と平面パッド軸受に適用し、それら軸受の設計を行う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-4】 流体潤滑理論が理解できる。		到達目標1は、授業中に理解できていることをマンツーマンの確認する。全員ができていないか、一人一人チェックする。
2	【A4-4】 平面軸受における流体潤滑理論が理解できる。		到達目標2も同様。
3	【A4-4】 ジャーナル軸受における流体潤滑理論が理解できる。		到達目標3も同様。
4	【A4-4】 ジャーナル軸受、平面パッド軸受、ピストンピン軸受の設計ができる。		到達目標4は課題レポートと期末試験によって評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	評価は試験成績90%，レポート10%で行う。		
テキスト	「オリジナルノート」のコピーを配布		
参考書	「大学演習機械要素設計」吉沢武男編（裳華房）		
関連科目			
履修上の注意事項	関連科目：設計システムコース4学年の応用機械設計とシステム制御コース3学年の機械設計。トライボロジーの授業は、応用機械設計と機械設計の授業で実施できなかったすべり軸受の潤滑設計を行う。		

